

令和2年度「電波の日」関東総合通信局長表彰

1 個人:2件

(敬称略:五十音順)

氏名	所属等	功績の概要
佐藤 俊夫	茨城県電波適正利用推進員協議会	多年にわたり茨城県電波適正利用推進員協議会の役員を務めるとともに関係団体と折衝し、電波の正しい利用方法とルールについて各自治体等と連携したイベントを企画するなど、良好な電波利用環境維持及び協議会活動の発展に多大な貢献をした。
須田 昭仁	—	令和元年台風19号により多くの被害が出ている中、アマチュア無線局でSOS信号を受信し、孤立状態であった老夫婦の救助要請を固定電話により行き、救助が確認できるまでの間、アマチュア無線局の通信を継続し、災害時における電波の適切な使用に多大な貢献をした。

2 団体:8件

(敬称略:五十音順)

団体名	代表者	功績の概要
市原FM放送株式会社	代表取締役社長 御園生 賢司	ラジオ放送による災害時の情報伝達の重要性を強く認識し、令和元年台風15号災害に際し、長期間にわたる放送停止を余儀なくされる中、早期の復旧に努めるとともに自ら取材したきめ細やかな災害情報を放送するなど、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をした。
一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会	会長 出野 清秀	令和元年台風19号上陸に伴い水戸市から災害時要配慮者の輸送要請を受け、タクシー無線を活用して市内の被災状況や搬送先までの経路の安全確認を行い、適切な車両の配置を行いつつ避難輸送を行うなど、災害時における電波の適切な使用に多大な貢献をした。
かずさエフエム株式会社	代表取締役 石村 比呂美	令和元年台風15号災害に伴う大規模停電により放送の継続が困難となる中、仮設のスタジオを迅速に開設し、住民に向けた災害情報の発信を積極的に行うなど、基幹放送局としての使命を十分に果たすとともに、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をした。
神奈川エフエムネットワーク	—	神奈川県内のFM放送局の連携組織として、災害時の情報を共有し、地域住民に情報発信を行うとともに、災害時にラジオが有効な情報伝達手段となることを啓発するイベントを開催するなど、地域における災害情報の伝達と防災対策の向上に多大な貢献をした。
関東自動車無線協会神奈川支部	支部長 藤井 嘉一郎	多年にわたりタクシー無線利用会員の無線従事者資格取得に尽力し、従事者養成講習会の開催、無線技術・運用の知識習得に向けた取組を推進するなど、法制度の遵守及び電波利用秩序の維持向上と人材の育成に多大な貢献をした。
台風被害による地上波テレビジョン放送復旧対策チーム	—	令和元年台風15号及び19号災害に伴う長時間の停電による千葉県内の大規模停電に際し、日本放送協会、関東広域民放5社、千葉テレビ放送及び保守事業者3社で連携し、協力体制を確立し放送の復旧に努め、災害時における放送の維持・充実に多大な貢献をした。
栃木県警察本部生活安全部	生活安全部長 大貫 良之	不法無線局が引き起こす社会への影響を深く認識し管内の警察署に対して不法無線局共同取締りを主導するとともに、電波法令違反事案の解消に積極的に取り組み、適正な電波利用の重要性の認知度を向上させるなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。
水戸コミュニティ放送株式会社	代表取締役 海老澤 啓子	ラジオ放送による災害時の情報伝達の重要性を強く認識し、地元自治体と関係強化に努めるとともに、令和元年台風19号災害に際し、被災した地域へ臨時災害放送局を開設するための設備を無償貸与し運用を支援するなど、災害時における情報提供手段の確保に多大な貢献をした。